

ブロックごとの「めざす子どもの姿」

ファーストブロック(Fブ)	セカンドブロック(Sブ)	サードブロック(Tブ)
主体性 自分の思いや考えを、伝えられる子ども 協働性 友達のよさに気付き、力を合わせる子ども 創造性 やりたいことを見つけて、工夫できる子ども	主体性 目標をもって、進んで取り組む子ども 協働性 互いのよさを認め合い、助け合う子ども 創造性 新しい自分に向かって、挑戦する子ども	主体性 失敗を恐れず、チャレンジし続ける子ども 協働性 仲間とともに地域のよさを認め合い協力できる子ども 創造性 自分で考え、自分で動き、自分を磨き続ける子ども

カリキュラムポリシー

- (1) 9学年を、(1～4学年) F[ファーストブロック]・(5～7学年) S[セカンドブロック]・(8・9学年) T[サードブロック]に分けて、4学年、7学年、9学年を各ブロックの目標の達成学年として位置付ける。ブロック毎の「めざす児童・生徒像」を別に定め、各ブロックの目標とする。
- (2) 評価については、前・後期による2期制とする。
- (3) 「生活科」や「総合的な学習の時間」等を通して、地域を学び理解する探究的な学びを行う。特に8・9年生においては、「総合的な学習の時間」を学年を縦割りにしたゼミに分かれて、地域の課題解決等のテーマを設定して、対話的で深い学びに繋がる探究的な学びを推進する。
- (4) 各教科や学校行事等においては、9つの学年の実態に則して、積極的に学年を越えた交流の機会を設定する等、義務教育学校の特色を最大限生かした教育課程となるよう工夫をする。
- (5) 教育課程編成は、義務教育学校としての特例、松川町内に立地している福島大学の協力や支援、他の各種機関等との連携を十分配慮する。
- (6) 福島県学術教育振興財団の助成事業に、3年間の計画で松陵中学校が取り組んでいる「災害から主体的に身を守ることができる資質能力の育成」プロジェクトを継承し、松陵義務教育学校として9ヶ年の取組となるよう教育課程に位置付ける。

現職教育 研究計画

研究主題

「思考・判断・表現力を育むための学習指導の在り方」

副主題

「話し合いをコーディネートし、子どもが主役になる授業を通して」

研究の手立て

- ① 子どもの学習意欲・探究心を高める「課題設定」
- ② 考えを広げ深める「学び合いの場の設定」

